

貸借対照表

(令和2年2月29日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	6,792	流動負債	10,257
現金及び預金	3,677	未払金	4,710
売掛金	2,924	未払費用	1,254
前払費用	103	前受金	1,904
貯蔵品	83	仮受金	242
未収入金	7	未払法人税等	180
貸倒引当金	△4	未払消費税等	516
固定資産	1,290	預り金	684
無形固定資産	610	賞与引当金	765
のれん	477	固定負債	15,000
商標権	132	長期借入金	15,000
投資その他の資産	680	負債合計	25,257
投資有価証券	512	純資産の部	
差入保証金	168	株主資本	△17,174
		資本金	15,000
		資本剰余金	15,000
		資本準備金	15,000
		利益剰余金	△47,174
		その他利益剰余金	△47,174
		繰延利益剰余金	△47,174
		純資産合計	△17,174
資産合計	8,082	負債・純資産合計	8,082

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

のれん	5年
商標権	10年

ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定について減価償却方法の変更

定額法耐用年数5年で処理しておりましたが、令和2年3月の取締役会で承認され、令和2年2月末決算ですべて費用計上しました。

(2) 引当金の計上額

貸倒引当金

債権等の貸倒れによる損失に備えるため一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案して回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員に対する賞与支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 重要な後発事象に関する注記

多額な資金の借入

当社はパイブドHD株式会社と金銭消費貸借契約を次のとおり締結し、借入を実行いたしました。

(1) 資金用途: 長期運転資金

(2) 契約日: 令和2年3月17日

(3) 借入先: パイブドHD株式会社

(4) 借入金額: 10,000千円

(5) 借入実行日: 令和2年3月19日

(6) 金利: 変動金利

(7) 返済方法: 令和5年3月末日を初回返済期日として、以降、毎月末日に1百万円の元本均等返済とし、最終返済期日は、令和5年12月末日とする。

(8) 担保提供資産の有無: 無

3. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。